

Apple Deployment and Management

試験対策ガイド



目次

試験について	3
試験に備える	3
模擬試験を受ける	4
模擬試験に申し込む	4
学習目標	5
導入を計画する	5
環境を整える	5
デバイス登録	6
Apple Business ManagerとApple School Manager	6
Apple Configurator	7
デバイスのセットアップ	7
デバイスの構成	8
IDサービス	8
コンテンツとデータフローの管理	8
デバイスのセキュリティ	9
ネットワーク統合	9
ソフトウェアアップデート	10
デバイスのサポート	10
「Apple Deployment and Management」試験の詳細	11
試験を受ける	11
試験のスケジュールを設定する	11
認定資格について	12

試験について

「Apple Deployment and Management」試験は、組織でAppleデバイスを導入および管理するテクニカルプロフェッショナル向けの試験です。この試験では、本ガイドに記載の学習目標で説明されている内容に関する知識と理解度を確かめます。試験に合格すると、[Apple Certified IT Professionalデジタルバッジ](#)を獲得できます。さらに詳しくは、[Apple Training](#) (英語)のWebサイトを参照してください。

この試験は、iOS 18、iPadOS 18、macOS Sequoiaを対象に作成されています。

試験に備える

「Apple Deployment and Management」試験の範囲には、「Apple Deployment and Management」コースのトピックに加えて、このガイドに掲載されているすべての学習目標が含まれます。試験に合格するには、Appleの複数のリソースで学習し、Appleデバイスの導入と管理に関わる直接的な経験を積む必要があります。この試験に備えるには、経歴、技術的な専門知識、Appleデバイスの導入と管理に関わる経験に応じて、30～60時間かかります。

「Apple Deployment and Management」試験に備えるための方法を以下に示します。

- 組織でAppleデバイスの導入と管理に関わる実践的な経験を積む。
- 本ガイドの学習目標を読み、各目標に関するリンク先のリソースを入念に学ぶ。
- [「Apple Deployment and Management」](#)コース (英語) を完了する。コースの内容とリンク先のリソースを学習し、演習を行ってください。各記事やチュートリアルでの「理解度チェック」の質問は、知識を深めるために役立ちます。
- 「Apple Deployment and Management」模擬試験を受ける。模擬試験は、「Apple Deployment and Management」試験を受ける準備ができていないか、またはさらに学習が必要な知識領域を把握するために役立ちます。
- このガイドの最後のページにあるチェックリストを活用し、試験準備の管理にお役立てください。

模擬試験を受ける

- Pearson VUEシステムでオンラインで模擬試験を受けられます。
- 模擬試験の名称は「Apple Deployment and Management」模擬試験です。
- 時間を確保して、一度で最後まで終了するようにしてください。所要時間は120分です。
- 模擬試験は約80件の技術的な質問で構成されています。
- 合格に必要な最低スコアは75%です。スコアは四捨五入されません。
- この模擬試験には、多肢選択式の単一または複数回答方式が含まれています。
- コースまたはその他のリソースを使用せずに各質問に回答してください。そうすることで、「Apple Deployment and Management」試験を受ける準備ができていないかどうかを見極めることができます。

模擬試験に申し込む

「Apple Deployment and Management」模擬試験は、次の手順で申し込むことができます。

1. [ACRS](#) (Apple認定記録システム) に自身のApple Accountでサインインする。
2. 「Practice Exams」(模擬試験) をクリックし、「Apple Deployment and Management Practice Exam」(Apple Deployment and Management 模擬試験) をクリックする。
3. 試験の申し込みページで必要なセクションを更新し、「Submit」(送信) ボタンをクリックする。
4. 「Notifications」(通知) ページで、「You may continue to the exam process for Apple Deployment and Management Practice Exam. Continue at Pearson VUE.」(手続きを続行する試験: Apple Deployment and Management 模擬試験、Pearson VUEで続行) というメッセージを見つけてリンクをクリックする。
5. Pearson VUEのページで、手順に沿って模擬試験の料金を支払う。

受験料の支払いが完了したら、試験をすぐに始められます。模擬試験を後で開始するには、次の手順に従います。

1. [ACRS](#) に自身のApple Accountでサインインし、「Notifications」(通知) ページで「Apple Deployment and Management Practice Exam」(Apple Deployment and Management 模擬試験) をクリックする。
2. 「Begin Exam」(試験を開始する) をクリックし、手順に沿ってPearson VUEで続行する。

模擬試験に一度で合格できなかった場合は、模擬試験を再度購入して7日後に再試験を受けることができます。「Apple Deployment and Management」模擬試験は、合格するまで何度でも受けられます。

学習目標

導入を計画する

Appleの組み込みのMDMフレームワークの主な目的と機能を把握する。

- [AppleのMDMフレームワークの詳細](#) (英語)

Appleデバイスの導入と管理に関連する重要な用語や概念を把握する。

- [デバイスの登録について](#) (英語)
- [FileVaultでデータを保護する](#) (英語)
- [デバイスにクエリーを送る](#) (英語)
- [モバイルデバイス管理プロファイルの概要](#)
- [導入時にセキュアトークン、ブートストラップトークン、およびボリューム所有権を使用する](#)

ユーザおよび組織が所有するAppleデバイスで利用可能なMDMの機能、コマンド、アクション、データアクセスを区別する。

- [セキュリティ戦略を策定する](#) (英語)
- [Appleデバイスでの登録方法](#)
- [Appleデバイスをロックする／検索する](#)
- [モバイルデバイス管理のセキュリティの概要](#)

MDMソリューションを使ってユーザとそのデータを新しい管理対象のAppleデバイスに移行する際のバックアップと復元の方法を区別する。

- [管理対象デバイスをバックアップする／復元する](#)

環境を整える

Appleデバイスの導入についてMDMソリューションを評価する上で重要な検討事項を特定する。

- [MDMソリューションを評価する](#) (英語)

あるMDMソリューションから別のMDMソリューションに移行する上で重要な検討事項と関連タスクを特定する。

- [新しいMDMソリューションを構成する](#)

Appleデバイスの使用に関して、組織のネットワークインフラストラクチャー (Wi-Fi、通信範囲と容量、プロキシ、ファイアウォール、VPN、Bonjourなど) を構成する方法を説明する。

- [ネットワークを準備する](#) (英語)
- [ハードウェアとマルチキャスト](#)

サブネット全体でコンテンツキャッシュがどのように機能するかを説明する。

- [コンテンツキャッシュについて理解する](#) (英語)
- [コンテンツキャッシュの概要](#)

テザリングキャッシュとその仕組みについて説明する。

- [コンテンツキャッシュの概要](#)

デバイス登録

Appleデバイスの3つの主要な登録タイプの重要な概念と特性を特定する。

- [デバイスの所有権と登録のプランニング](#) (英語)
- [組織のアプリとデータを管理する — データの分離](#) (英語)
- [自動デバイス登録とMDM](#)
- [デバイス登録とMDM](#)
- [Appleデバイスでの登録方法](#)
- [アカウント駆動型の登録タイプによりユーザーデータを組織データから分離する方法](#)
- [ユーザ登録とMDM](#)

各登録タイプの所有権と登録のオプションについて説明する。

- [Appleデバイスの設定アシスタントを管理する](#)
- [Appleデバイスの設定アシスタントMDMペイロードの設定](#)

登録タイプや所有モデルのデバイス管理方法やオプションを区別する。

- [デバイスの所有権と登録のプランニング](#) (英語)
- [ユーザ所有デバイスを登録する](#) (英語)
- [共有iPadをサポートする](#) (英語)
- [デバイスおよび企業データの管理](#) (PDF)
- [共有iPadを準備する](#)
- [ユーザ登録MDMの情報](#)

Appleデバイスの3つの主要な登録タイプの要件、機能、制約、プロセスを区別する。

- [組織にデバイスを手動で追加する](#) (英語)

ユーザ登録およびデバイス登録の両方のアカウント駆動型の登録タイプとその結果を区別する。

- [ユーザ所有デバイスを登録する](#) (英語)
- [デバイス登録とMDM](#)
- [ユーザ登録とMDM](#)

Apple Business ManagerとApple School Manager

Apple Business ManagerとApple School Managerで、Apple製品取扱店または通信事業者への接続を管理する。

- [Apple Business ManagerまたはApple School Managerを使用する](#) (英語)
- [Apple Business Managerでデバイスサプライヤを管理する](#)

Apple Business ManagerまたはApple School Managerで、役割、場所、ユーザグループの目的を区別する。

- [Apple Business ManagerまたはApple School Managerを使用する](#) (英語)
- [場所とユーザを追加する](#) (英語)
- [Apple Business Managerでの役割と権限について](#)

トークンを使って、Apple Business ManagerまたはApple School ManagerをサードパーティのMDMソリューションにリンクし、自動デバイス登録もしくはアプリとブックの購入またはその両方を有効にする方法を説明する。

- [MDMサーバを追加する](#) (英語)
- [Apple Business ManagerでサードパーティのMDMサーバにリンクする](#)
- [Apple Business Managerでコンテンツトークンを管理する](#)

Apple Business ManagerまたはApple School Managerで、MDMサーバへのデバイス割り当てを管理する。

- [デバイス割り当てを管理する](#) (英語)
- [Apple Business Managerでデバイスの割り当てを確認する](#)

Apple Business ManagerまたはApple School Managerでコンテンツを購入する。

- [セキュリティ戦略を策定する](#) (英語)
- [アプリとブックを通じてコンテンツを購入する](#) (英語)
- [Apple Business Managerでのカスタムアプリについて](#)
- [Apple Business Managerでコンテンツを選択して購入する](#)

Apple Business ManagerまたはApple School Managerで別の場所にライセンスを転送する。

- [アプリとブックを通じてコンテンツを購入する](#) (英語)
- [Apple Business Managerでライセンスを別の場所に転送する](#)

Apple Configurator

Apple Configuratorとそれを使用した登録、監視、導入方法について説明する。

- [Apple Configuratorの機能の詳細](#) (英語)
- [Apple Configuratorについて](#)
- [Apple Configuratorでのデバイスの準備について](#)

Apple Configuratorを使って、Apple Business ManagerまたはApple School Managerにデバイスを追加する。

- [組織にデバイスを手動で追加する](#) (英語)
- [Apple Business ManagerにApple Configuratorからデバイスを追加する](#)

デバイスのセットアップ

Appleデバイスで、MDMソリューションを使って設定アシスタントを管理するための一般的な戦略と使用事例を特定する。

- [登録と設定アシスタントを管理する](#) (英語)
- [設定アシスタントパネルのオプション](#)

管理対象のAppleデバイスで設定アシスタントをリセットするための戦略と方法を区別する。

- [ネットワークトラフィックを管理する](#) (英語)
- [「サービスに戻す」ためのデバイスの準備](#) (英語)
- [紛失したデバイスを管理する](#) (英語)
- [MDMを使ってモバイルデータ通信を備えたデバイスを導入する](#)

MDMソリューションを使ってローカルのmacOSアカウントを作成する場合の設定アシスタントの動作を把握する。

- [ローカルのmacOSアカウントを設定する](#)
- [Appleデバイスを消去する](#)

デバイスの構成

登録タイプについてAppleデバイスの宣言型の構成を区別するためのプロパティについて説明する。

- [宣言型デバイス管理を使用してAppleデバイスを管理する](#)

IDサービス

管理対象のAppleデバイスでサポートされている、パスワードやユーザ名を安全に管理するのに役立つIDサービスを区別する。

- [認証とユーザーサービスを評価する — プラットフォームSSO \(英語\)](#)
- [認証とユーザーサービスを評価する — シングルサインオン \(英語\)](#)
- [デバイスの登録について — アカウント駆動型デバイス登録 \(英語\)](#)
- [組織のアプリとデータを管理する — アカウント駆動型デバイス登録 \(英語\)](#)

Apple Business ManagerまたはApple School Managerで、IDプロバイダによるフェデレーション認証を使用するための要件を特定する。

- [macOSのプラットフォームシングルサインオン](#)

コンテンツとデータフローの管理

管理対象アプリ、カスタムアプリ、非公開アプリ、独自の社内用アプリをデバイスやユーザに配付する仕組みについて説明する。

- [Apple Business ManagerまたはApple School Managerを使用する \(英語\)](#)
- [アプリとブックを通じてコンテンツを購入する \(英語\)](#)
- [配付方法を選択する \(英語\)](#)
- [リストされないアプリをAppleデバイスに配付する](#)
- [Appleデバイスでのコンテンツの配付の概要](#)
- [Apple Business Managerでコンテンツトークンを管理する](#)

管理対象のAppleデバイスで個人データと組織データの分離を管理するための一般的な方法と戦略を区別する。

- [ユーザ登録とMDM](#)

管理対象のAppleデバイスでMDMを使用して管理できるコンテンツのタイプを区別する。

- [Appleデバイスでのコンテンツの配付の概要](#)

デバイスのセキュリティ

iOS、iPadOS、macOSで暗号化されるデータやFileVaultのキーを保存できる場所について説明する。

- [ハードウェアセキュリティの概要](#)

復旧キー、パーソナル復旧キー、MDMエスクローの重要性について説明する。

- [FileVaultでデータを保護する](#) (英語)
- [MacでのFileVaultの仕組み](#)
- [FileVaultを使用してMacのデータを保護する](#)

MDMソリューションを使ってデバイスをすばやくリセットし、サービスに戻す方法を説明する。

- [iPhoneおよびiPadの「サービスに戻す」](#)

盗難または紛失時にAppleデバイスを保護するための主な方法と戦略を特定する。

- [セキュリティ戦略を策定する](#) (英語)
- [MDMを使って管理対象紛失モードを管理する](#) (英語)
- [Appleデバイスの管理対象デバイスの認証](#)

アクティベーションロックの管理に利用可能なオプション(ユーザおよび組織に紐付けられたアクティベーションロックや、MDMを使ったバイパスコードなど)を区別する。

- [Appleデバイスでのアクティベーションロック](#)
- [recoveryOSパスワード](#)

デバイスのロックと位置の管理に利用可能なオプションを区別する。

- [デバイスをロックする](#)

管理対象紛失モードのオプションと要件を区別する。

- [MDMを使って管理対象紛失モードを管理する](#) (英語)
- [紛失したデバイスを管理する](#) (英語)

管理対象のAppleデバイスで組織のデータを安全に保管するためのMDM設定を行う。

- [Appleデバイスに管理対象アプリを配付する](#)

ネットワーク統合

ネットワークの応答性と品質を評価する方法を説明する。

- [networkQualityのmanページ](#) (英語)

管理対象AppleデバイスをWi-Fiネットワークに加えることに関する重要な検討事項を理解する。

- [適切なWi-Fiの通信範囲を取得する](#)
- [iOS、iPadOS、macOSが自動接続するワイヤレスネットワークの決定方法](#)
- [AppleデバイスのWi-Fiネットワークを最適化する](#)
- [AppleデバイスでのWi-Fiローミングのサポート](#)

管理対象のAppleデバイスを802.1Xワイヤレスネットワークに接続するための設定に必要なMDMペイロードについて説明する。

- [Wi-Fiネットワークに参加する](#) (英語)
- [Mac用802.1X構成](#)

Apple MDMフレームワークを使って、ワイヤレスアプリケーショントラフィックの優先度を管理する方法を説明する。

- [AppleデバイスのCisco FastlaneのMDM設定](#)
- [AppleデバイスのグローバルHTTPプロキシMDMペイロードの設定](#)
- [コンテンツキャッシュを設定する](#)

ソフトウェアアップデート

AppleデバイスでMDMソリューションを使ってデバイスソフトウェアアップデートを管理するための一般的な方法と戦略を区別する。

- [ソフトウェアアップデートを管理する](#) (英語)

管理対象のソフトウェアアップデートの期限が過ぎた場合のデバイス通知動作を把握する。

- [ソフトウェアアップデートを管理する](#) (英語)
- [MDMを使ってソフトウェアアップデートをAppleデバイスに導入する](#)

MDMを使ってAppleオペレーティングシステムのベータリリースへのアクセスを管理する方法を説明する。

- [ソフトウェアアップデートを管理する](#) (英語)
- [MDMを使ってソフトウェアアップデートをAppleデバイスに導入する](#)

管理対象のソフトウェアアップデート期限の24時間前のデバイス通知動作を把握する。

- [ソフトウェアアップデートを管理する](#) (英語)
- [MDMを使ってソフトウェアアップデートをAppleデバイスに導入する](#)

デバイスのサポート

macOS復旧を使用して、Appleシリコン搭載Macにおけるシステムの起動、復元、復旧の問題を解決する。

- [Macのログインパスワードをリセットできない場合](#)
- [macOS復旧から起動する方法](#)
- [Macの起動時にギアマークのアイコンが付いた「オプション」の画面が表示される場合](#)

Macでコンテンツキャッシュを構成する。

- [AppleデバイスのコンテンツキャッシュMDMペイロードの設定](#)

「Apple Deployment and Management」試験の詳細

- この試験の名称は「Apple Deployment and Management」試験です。
- 試験は約80件の技術的な質問で構成されています。所要時間は120分です。
- 合格に必要な最低スコアは75%です。スコアは四捨五入されません。
- この試験では、多肢選択式の単一または複数回答方式が使用されています。
- 試験中にリソースや参照資料を確認することはできません。

試験を受ける

Appleの試験は、主にライブのオンラインプロクタリングソリューションである[Pearson OnVUE](#)を通じて提供されています。Pearsonテストセンターがある一部の場所では、対面形式でテストを受けることができます。お住まいの国での対応状況は、[Pearson VUE — テストセンターの検索](#)にアクセスしてください。

試験の時間を確保して、一度で最後まで終了するようにしてください。試験を受けるには、公的機関が発行した最新の身分証明書が必要です。Pearson OnVUEで試験を受けるには、静かでプライバシーの保たれる空間が必要です。

試験のスケジュールを設定する

「Apple Deployment and Management」試験のスケジュールを設定するには、次の手順に従います。

1. [ACRS](#)に自身のApple Accountでサインインする。
2. 「Available Exams」(利用可能な試験)をクリックする。「Apple Deployment and Management Exam」(Apple Deployment and Management試験)をクリックし、試験の登録プロセスを開始します。
3. 試験の申し込みページで必要なセクションを更新し、「Submit」(送信) ボタンをクリックする。
4. 「Notifications」(通知)ページで、「You may continue to the exam process for Apple Deployment and Management Exam. Continue at Pearson VUE.」(手続きを続行する試験: Apple Deployment and Management試験、Pearson VUEで続行)というメッセージを見つけてリンクをクリックする。
5. Pearson VUEのページで、スケジュール設定手順に沿って試験の料金を支払う。バウチャーコードまたはプロモーションコードをお持ちの場合は、「Add Voucher or Promo Code」(バウチャーまたはプロモーションコードを追加)を選択し、チェックアウトプロセスでコードを追加します。

試験日当日は、Pearson VUEから届く確認メールに記載されている手順に従ってください。Pearson OnVUEで試験を受ける受験者は、試験セッションの前に、試験で使用するコンピュータとネットワークでシステムチェックを実施してください。

試験の終了後、スコアがPearsonからメールで届きます。一度で合格できなかった場合は、試験を再度購入して7日後に再試験を受けることができます。「Apple Deployment and Management」試験は、合格するまで最大4回受けられます。

認定資格について

[Apple認定ITプロフェッショナルデジタルバッジ](#)を取得することで、自身を差別化し、進化する求人市場で競争力を持ち、Appleブランドの力を活用することができます。

試験に合格すると、デジタルバッジの取得手順に関するメールがCredlyから送信されます。

デジタルバッジは、取得日から2年間有効です。有効期限は取得日によって異なります。バッジの有効期限までに最新の試験を受けることで、バッジを最新の状態に保つことができます。試験が更新されたらすぐに気付くことができるよう、定期的に[Apple Training](#) Webサイトにアクセスし、[ACRS](#)に自身のApple Accountでサインインするようにしてください。

チェックリスト

このチェックリストを活用し、試験準備の管理にお役立てください。

- 試験の準備をしている他の人たちと学習グループを作り、一緒に取り組む。
- このガイドをよく読み、「Apple Deployment and Management」試験に向けた準備の詳細を確認する。
- このガイドの「学習目標」セクションを読み、各目標にリンクされたリソースの内容を詳しく確認する。
- [「Apple Deployment and Management」コース](#) (英語) の教材で学習し、時間を取って関連コースの演習を修了する。下のサンプルタイムラインをガイドラインとして用いて準備の時間を管理する。
- [「Apple Deployment and Management」模擬試験](#)を受け、準備の状況を評価する。

模擬試験に合格した場合は、おそらく認定試験を受ける準備ができています。

模擬試験に合格しなかった場合は、Pearsonスコアレポートのカテゴリを使用して、さらに学習が必要な知識分野を特定してください。「Apple Deployment and Management」模擬試験を再度受験して、準備の状況を評価します。認定試験の対象となる知識分野を完全に理解していると確信できるまで、必要に応じてこれを繰り返します。

- [認定試験のスケジュールを設定する](#)。

認定試験に合格しなかった場合に再度受験できる時間を十分に確保しておきます。再試験は、認定試験の受験から7日後に購入し、受験することができます。認定試験は、合格に向けて最大4回まで受験できます。

試験準備タイムラインの例

完了	月	アクティビティ
	1	このガイドの「学習目標」セクションでリンクされているリソースの内容を学習する。
		「Apple Deployment and Management」コースの教材で学習する。
		関連するコースの演習を修了する。
	2	コースの教材とリンクされたリソースの最終確認を行う。
		模擬試験を受ける。
		認定試験のスケジュールを設定する。
		認定試験を受ける。